

『報告事項』①

定款第9条（事業報告及び決算）

本財団の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の資料を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告 (2)事業報告の附属明細 (3) 貸借対照表 (4)損益計算書(正味財産増減計算書) (5)貸借対照表及び損益計算書の附属明細書 (6)財産目録
2. 前項の承認を受けた書類のうち、第(1)号、第(3)号、第(4)号及び第(6)号の書類については、定時評議委員会に提出し、第(1)号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

「平成24年度 事業報告」

1. 事業部門(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当財団は、平成2年(1990)4月1日に(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団として設立されて以来、本年で満23年を迎えました。これまでは、本格的な高齢社会の到来を控え、また国民のニーズの高度化、多様化に対応するために良質の医療を効率的に提供するためのシステムづくりが重要なことから、在宅でも医療が出来る環境の整備を図り、医療供給を施設中心から在宅中心へと転換する観点から、在宅ケアを推進していくために研究や事業助成を中心に助成事業に努めてまいりました。

これらの情報を出版物「ふれあいの輪」やホームページ等で外部機関へ公開し、助成を必要としている諸団体・個人への情報及び調査・研究事業の分野においても、質、量の両面で調査研究の成果を関係諸団体に対し提供を行い、わが国の在宅推進の向上に寄与し、広く社会へ財団の社会的役割を発信してまいりました。

当財団は平成23年11月1日に公益財団法人へ移行して以降、平成23年度は公益財団法人としての実質的なスタートの年になりました。本年度は2期目を終え1年を通しての公益目的事業計画の執行、並びに年度収支予算に伴う決算処理を実施する年になりました。

更なる高齢化社会を迎えるに当たり、社会保障制度の仕組みを早急に取り組む必要性があり、特に在宅ケアに関しては、多様化するニーズにいち早く捉え国民の豊かさを充足させるための生活環境の整備が必要不可欠であります。そのために、官民の連携を下に一体となって、介護保険制度の充実から在宅に対する知識の共有と地域ケアシステムの構築が必要となるものと判断いたします。

医療、看護、介護の専門職がチームアプローチを行い、利用者の自立支援に役立てることができれば幸いに思う次第であります。

当財団としても、それらの役割を共有して在宅ケアに対するあらゆる分野から双方向の視点での役割を担うことで社会貢献を目指してまいります。

[1]公益目的事業

イ. 研究事業助成事業 (公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業)

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであり、基本的には、在宅での医療機器、福祉用具を使用しての研究及び事業であります。

●1. 平成 24 年度選考委員会(第 1 回)

日 時	平成 24 年 4 月 13 日〔金〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 47F あさひ
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 米山 澄夫 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、江向常務理事
議 題	平成 24 年度助成金募集要項について他

●2. 平成 24 年度選考委員会(第 2 回)

日 時	平成 24 年 6 月 15 日〔金〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 42F コメット
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、江向常務理事
議 題	平成 24 年度研究・事業助成金採点結果
	平成 24 年度研究・事業助成金決定

●3. 平成 24 年度(研究助成・事業助成)募集カテゴリー

(研究助成)

- ① 在宅における高齢者や障害者(児)の自立支援、在宅重視によるリハビリテーション活動に関する研究
- ② 在宅医療機器、介護福祉機器、リハビリテーション機器に関する研究
- ③ 訪問看護ステーション、地域包括ケアセンター及び在宅介護支援センターの機能拡大に関する研究
- ④ 介護保険制度及び医療保険制度における在宅ケアに関する研究
- ⑤ 介護予防やケアマネジメントに関する研究
- ⑥ 在宅で生活を支援するサービスの質の向上に関する研究
- ⑦ 難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関

する研究

- ⑧ 医療機関から在宅医療・看護総合連携パスと福祉用具の活用に向けての研究
- ⑨ 介護職による医療行為の安全性確保に関する研究
- ⑩ 震災における介護に関する研究

(事業助成)

- ① 疾病を持った在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業
- ② 在宅ケアにおける福祉用具・住宅関連・寝具等の開発や工夫に努めている事業
- ③ 高齢者や障害者（児）の在宅ケア推進関連事業
- ④ 介護予防に関する新メニューの展開事業
- ⑤ 難病やがん末期の在宅医療・看護・介護支援強化に関する展開事業

●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	平成24年4月16日～平成24年6月1日(応募期間)		
応募総数	55件	採用件数: 19件	助成金総額: 5,140,000円
助成金累計総額	382,040,000円		

平成24年度[第23回]研究助成・事業助成採用者一覧

■カテゴリー分類・・・全19件(研究17件/事業2件)

①高齢者や障害者(児)の自立支援、在宅重視、リハビリテーション活動に関する研究・・・4件

申請者所属名所	テーマ	金額
NPO 法人さいたまシニア ライフアドバイザーの会 代表理事 近藤 康男	「在宅、最後まで1人暮らしの方法論」の研究	250,000 円
カリフォルニア大学 博士研究員 山本 真理子	小型介助犬の役割の検証 —在宅ケア促進と家族支援にむけて—	150,000 円
山形県立保健衣料大 学理学療法学科 講師 丹野 克子	介護支援専門員と訪問リハビリテーション専門職の連携プロセスに関する分析	250,000 円
九州大学病院 理学療法士 上島 隆秀	難病児のコミュニケーション支援研究	250,000 円

②在宅医療機器・介護福祉機器・リハビリテーション機器の開発に関する研究……………3件

藤田保健衛生大学 教授 富田 豊	機能的電気刺激装置 NESS L300 による治療効果の評価 のための足関節かたさ測定装置の開発	300,000 円
兵庫県立福祉まちづ くり研究所	誤嚥予防を目指した頭頸部調節保持枕の研究開発	500,000 円
大阪市立大学院看護 学研究科 大学院生	車椅子を使用する高齢者のリスクに関連する看護者の理解	240,000 円

③訪問看護ステーション及び地域包括ケア・在宅介護支援センターへの機能拡大に関する研究・1件

新潟県立看護大学 講師 片平 伸子	訪問看護ステーションにおける災害時相互支援ネットワーク 構築を目指した実践研究	400,000 円
----------------------	--	-----------

④介護保険制度及び医療保険制度における在宅ケアに関する研究……………1件

東北大学大学院医学 系研究科非常勤講師 葛西 真理	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の利用による アルツハイマー患者の行動障害の改善の可能性	200,000 円
---------------------------------	--	-----------

⑤在宅で生活する支援サービスの質の向上に関する研究……………3件

東京大学大学院医学 系研究科 修士課程 阪井 万裕	訪問看護師のターミナルケアへの前向きさに関連する訪問 看護ステーション特性の明確化	250,000 円
桜美林大学大学院老 年学研究科博士課程 池田 晋平	在宅要介護高齢者の主観的健康感と関連する要因	250,000 円
有限会社パーソナル・ テクノロジー 取締役 坂本 俊雄	孤立死防止のための在宅安否確認センサネットワークシステ ムの開発	300,000 円

⑥難病やがん末期の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究……………2件

仙台往診クリニック研 究部次長 千葉 宏毅	在宅ターミナルケアにおける介護福祉用具の導入に 関する家族介護者への説明の研究	300,000 円
プライマリーヘルスケア 研究所 理事兼研究員 油井 和徳	在宅援助者が感じる『困難』についての因子研究	200,000 円

⑦介護職による医療行為の安全性確保に関する研究……………1件

山形県立保健医療大 学看護学科 助教 高橋 直美	介護保険施設で行われる医療行為の現状と介護職が 医療行為を行う上での課題	150,000 円
--------------------------------	---	-----------

⑧震災における介護に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件

東北文化学園専門学 校 教員 吉田 泰三	東日本大震災における支援物資としての介護機器の 支援状況に関する検証研究	300,000 円
名桜大学 講師 松下 聖子	島嶼・過疎地である沖縄県における在宅重症児の災害発生 時の支援体制構築に関する基礎的研究	300,000 円

研究助成 合計 17件	4,590,000 円
-------------	-------------

①疾病を持った在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業・・・・・・・・1件

特定非営利活動法人 ヘルスマネジメント あおぞら 理事 吉野 朝子	訪問看護ステーションが行う精神障害者アウトリーチ事業紹 介 DVD の作成	300,000 円
--	--	-----------

②高齢者や障害者(児)・在宅ケア推進関連事業・・・・・・・・1件

株式会社コモドヴィー タ 代表取締役 佐藤 茂樹	高齢者の在宅ケア推進関連事業 ～家族介護者教室、地域交流事業の開催～	250,000 円
--------------------------------	---------------------------------------	-----------

事業助成 合計 2件	550,000 円
研究事業助成 合計 19件	5,140,000 円

ロ. 教育研修事業〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓蒙活動事業〕

1)福祉用具専門相談員指定講習会の実施

第一回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成24年6月4日〔月〕～9日〔土〕 6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目 22-1」

メディアボックス 会議室 「新宿区西新宿 1-9-18」

参加者: 17名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理
職業倫理他

第二回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成24年11月10日〔土〕～15日〔木〕 6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目 22-1」

参加者: 26名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理
職業倫理他

第三回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成25年1月11日〔土〕、17日〔木〕、31日〔木〕、2月1日〔金〕

2月7日〔木〕、2月9日〔土〕、2月14日〔木〕 7日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目 22-1」

西武学園医学技術専門学校「新宿区百人町 2-5-9」

参加者: 29名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理
職業倫理他

2)福祉用具プランナー研修会の実施

第一回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成24年6月22日〔金〕～平成24年8月22日〔水〕eラーニング期間

平成24年7月19日〔木〕～21日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成24年8月23日〔木〕～25日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:東京テクニカルカレッジ 「中野区東中野 4-2-3」

参加者:36名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具
高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具
最新情報 職業倫理・福祉用プランニング演習他

第二回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成24年11月24日〔金〕～平成25年1月23日〔水〕eラーニング期間

平成24年12月13日〔木〕～15日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成25年1月24日〔木〕～26日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:株式会社ウィズ 会議室 「大阪市西区立売堀 1-9-33」

参加者:34名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具
高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報
職業倫理・福祉用プランニング演習他

3)研修会〔講演会〕の実施

セミナー啓蒙活動では、ホームケアを目指したテーマを取り上げ高齢者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立って情報提供を行い、又、それを支える専門職の方への現任教育として講演会等を実施しております。

回数	日時及びテーマ	場所	参加人数
1回	平成24年4月13日(金)	香川県高松市	168名
	「テーマ」第1部入院医療から在宅医療への連携について 講師:高槻赤十字病院看護師長 原田 かおる 先生 第2部介護保険法改正のポイントと課題 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
2回	平成24年4月16日(月)	兵庫県明石市	116名
	「テーマ」介護保険法改正のポイントと課題 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
3回	平成24年5月14日(月)	長野県松本市	204名
	「テーマ」介護保険法改正のポイントと課題 (FB 介護サービス) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
4回	平成24年5月15日(火)	長野県佐久市	228名
	「テーマ」介護保険法改正のポイントと課題 (FB 介護サービス) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
5回	平成24年5月17日(木)	千葉県千葉市	18名
	「テーマ」眠らない排泄ケア生活からの開放 講師:排泄ケア研究所所長 船津 良夫 先生		
6回	平成24年6月6日(水)	岡山県倉敷市	125名
	「テーマ」介護保険法改正後の現状と方向性について 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
7回	平成24年6月12日(火)	福岡県福岡市	235名
	「テーマ」介護保険法改正後の現状と方向性について 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
8回	平成24年6月13日(水)	熊本県熊本市	180名
	「テーマ」介護保険法改正後の現状と課題について 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和先生		
9回	平成24年6月28日(木)	北海道札幌市	114名
	「テーマ」介護保険法改正後の現状と方向性について 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		

10回	平成24年7月4日(水)	新潟県上越市	178名
	「テーマ」介護保険法改正のポイントと課題 (FB 介護サービス) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
11回	平成24年7月11日(水)	広島県広島市	164名
	「テーマ」入院医療から在宅への連携について 講師:呉医療センター地域連携副室長 岡本 尚子 先生		
12回	平成24年7月12日(木)	東京都品川区	200名
	「テーマ」社会保障と税の一体改革とこれからの医療・介護について 講師:内閣官房社会保障改革担当室長 中村 秀一 先生		
13回	平成24年7月20日(金)	静岡県静岡市	56名
	「テーマ」地域の介護とリハビリの連携について 講師:JA 静岡厚生連 診療部長 鈴木 美保 先生		
14回	平成24年7月25日(水)	東京都町田市	73名
	「テーマ」介護保険法改正後の現状と課題 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
15回	平成24年8月1日(水)	沖縄県那覇市	189名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
16回	平成24年9月18日(火)	福岡県久留米市	210名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
17回	平成24年9月25日(火)	和歌山県和歌山市	120名
	「テーマ」介護報酬改正に見るケアマネジャーの現状と課題 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
18回	平成24年11月13日(火)	長野県安曇野市	108名
	「テーマ」在宅介護へ向けての退院調整と連携 講師:日本赤十字看護大学 教授 福井 小紀子 先生		
19回	平成24年11月14日(水)	長野県長野市	98名
	「テーマ」在宅介護へ向けての退院調整と連携 講師:日本赤十字看護大学 教授 福井 小紀子 先生		
20回	平成24年11月19日(月)	埼玉県熊谷市	138名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か (FB 介護サービス) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		

21回	平成24年11月20日(火)	栃木県宇都宮市	86名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か (FB 介護サービス) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
22回	平成24年11月24日(土)	長野県松本市	48名
	「テーマ」在宅介護へ向けての退院調整と連携 講師:長野県立看護大学 教授 安田 貴恵子 先生		
23回	平成24年12月5日(水)	滋賀県滋賀市	98名
	「テーマ」介護報酬改正に見るケアマネジャーの現状と課題 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
24回	平成24年12月6日(木)	愛媛県松山市	136名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
25回	平成24年12月12日(水)	大分県大分市	172名
	「テーマ」介護支援専門員の本来の役割とは何か 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
26回	平成25年1月10日(木)	香川県高松市	56名
	「テーマ」認知症の理解とケアについて 講師:愛媛大学医学部 教授 三木 哲郎 先生		
27回	平成25年1月18日(金)	岡山県岡山市	129名
	「テーマ」ケアマネジメントとQOL 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
28回	平成25年1月21日(月)	福岡県北九州市	222名
	「テーマ」ケアマネジメントとQOL 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
29回	平成25年2月5日(火)	長野県松本市	180名
	「テーマ」福祉用具貸与事業の今後の展望 講師:厚生労働省老健局振興課 宮永 敬一 先生		
30回	平成25年2月13日(水)	埼玉県大宮市	38名
	「テーマ」ケアマネジメントとQOL 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
31回	平成25年2月14日(木)	広島県広島市	168名
	「テーマ」在宅医療におけるターミナルケアについて 講師:コールメディカルクリニック 理事長 岡林 清司 先生		

32回	平成25年3月18日(月)	香川県高松市	69名
	「テーマ」ケアマネジメントとQOL (株翼) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		
33回	平成25年3月27日(水)	愛媛県新居浜市	108名
	「テーマ」ケアマネジメントとQOL (株翼) 講師:桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 先生		

4) 秋季研修会(講演会)の実施

この秋季研修会は年1回のイベントとして実施している。医療・看護・介護並びに一般の方をお呼びして講演会並びにシンポジウムを実施。

:平成24年度秋季研修会

:『地域の絆を育むホームケアを目指して』21世紀の社会保障・医療・看護・介護の展望

:プログラム:平成23年度研究助成の発表(震災時の介護利用者の実態と支援のあり方)

基調講演「21世紀の社会保障」社会保障・税の一体改革と地域包括ケア

シンポジウム「地域の絆を育むホームケアを目指して」パネラ4名

:日時:平成24年10月27日(土) 13:00~17:00

:会場:新宿明治安田生命ホール

:主催:公益財団法人フランスハットメディカルホームケア研究助成財団

:協賛:フランスハット株式会社

:後援:一般社団法人公衆衛生協会、公益社団法人日本看護協会

公益財団法人日本訪問看護財団、日本看護連盟

:参加者:261名

:参加費:無料

ハ. 支援助成事業〔公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業〕

①健康生きがい学会への助成支援事業

健康と安心、そして生きがいに充ちた高齢期を迎えることは万人の願いであり、全ての高齢者に健やかな老いを保障することは老人福祉の究極的な目的といえます。そこで、高齢者が健康で安心に加えて、生きがいのある人生を送るために、国、地域、社会、そして私達1人ひとりがどのように対応していくべき意を尽くしていくために「健康生きがい学会」が創設されています。このことは、高齢社会の発展と向上に寄与していくことに対し、支援助成を行ってまいります。

- ・ 健康生きがい学会第3回大会
- ・ 『高齢者の健康生きがい』ーライフステージの視点からー
- ・ 日時:平成24年10月20日(土)、21日(日)
- ・ 場所:長崎国際大学
- ・ 主催:健康生きがい学会
- ・ 共催:長崎国際大学
- ・ 〃 :公益財団法人フランスハットメディカルホームケア研究助成財団
- ・ 参加者:350名
- ・ 参加費:無料

②難病こども支援全国ネットワークが主催する活動に対し後援し助成を行っている。

各種活動内容としては

- ・ 病気や障害のある子の家族を対象とした相談事業
- ・ 家族同士の交流の場を提供するサマーキャンプ事業
- ・ 親の会活動を支援する事業
- ・ 講演会、研修会など病気や障害のある子を理解するための事業
- ・ 社会教育・広報活動・ボランティア希望の方へ並びに活動支援事業

〔2〕収益目的事業

〔収1:在宅ケアに関連した、医療、介護、看護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業〕

1) 季刊誌「ふれあいの輪」を収益事業として、会計区分しております。

高齢者が安心して在宅生活を送り、住み慣れた我が家で再起を迎えることは、誰もが望むところである。そのためには社会資源を活用したネットワークの構築と情報の共有化が不可欠である。季刊誌「ふれあいの輪」の配布ターゲットは、医療、看護、介護を含む幅広い分野の皆様に配布を行っております。

- 1. 医療、看護、介護の専門分野の方に執筆をお願いして発行し、社会の動向を踏まえた最新情報を掲載し一般国民の皆様にも提供しております。
- 2. 1年4回の発行(春、夏、秋、冬)1回の発行部数12,650部
※今、決算では、夏号、秋号、冬号、春号の発行になります。

No.165(夏号) 2012.6.10	トップインタビュー(特別対談—医療法人徳州会) 『命だけは平等だ』の理念のもとに世界 200 カ国に病院をつくる 特集:介護保険情報 新サービス「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を理解するために！！
No.166(秋号) 2012.9.10	トップインタビュー 病気になってもいっぱい遊びたい 「遊び」は子どもの命、権利です。 特集: 大病院に囲まれた「暮らしの保健室」。 ここから「医療連携」の新たな道筋をつくりたい。
No.167(冬号) 2012.12.10	トップインタビュー 個の医療の時代から 他職種連携による医療の時代へ。 特集: 大阪市総合医療センターに、日本初の「こどものホスピス」が誕生
No.168(春号) 2013.3.10	トップインタビュー (特別企画座談会) 東日本大震災から2年。 全町避難の町『富岡町』の復興は……。 特集: 他職種連携による 福祉用具支援を考える

- 3. 配布先については、購入事業者(全国60箇所の営業所へ配布)を行い、各医療、看護、介護関連施設並びに一般の方々へ配布を行っております。

2. 管理部門

平成24年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

[イ]許認可事項

なし

[ロ]会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

(1)理事会

第2回定時理事会(平成24年6月1日)

- 第1号議案 平成23年度(平成23年11月1日～平成24年3月31日)事業報告及び決算承認の件
- 第2号議案 定時評議員会の招集について
 - ①定時評議員会の開催日程について
 - ②理事、監事の任期満了に伴う、役員の選任について
 - ③評議員の辞任並びに評議員の選任について

- 報告事項1. ①平成24年度の研究助成並びに事業助成の進捗報告
- ②平成24年度6月度行事予定

第3回定時理事会(平成24年10月17日)

- 報告事項1. 平成24年上期度事業報告並びに財務諸表報告について
 - 1.平成24年度[平成24年4月1日～平成24年9月30日]事業報告及び財務諸表報告の件
- 報告事項Ⅱ. 平成24年度下期事業予定
 - 1.平成24年度[平成24年10月1日～平成25年3月31日]行事予定

- 報告事業Ⅲ. 平成24年度秋季研修会について

第4回定時理事会(平成25年3月11日)

- 第1号議案 平成25年度事業計画
 - 第2号議案 平成25年度収支予算書
 - 第3号議案 評議員の定時評議員会の招集について
 - 第4号議案 諸規程の制定について
 - 第5号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 報告事項:本年度の理事会予定

(2)評議員会

第2回定時評議員会(平成24年6月15日)

- 報告事項 1. 平成23年度(平成23年11月1日～平成24年3月31日)
事業報告の内容報告の件
- 第1号議案 平成23年度(平成23年11月1日～平成24年3月31日)
計算書類等承認の件
- 第2号議案 理事及び監事の任期満了に伴う選任の件
- 第3号議案 評議員辞任に伴う選任の件
- 報告事項: 平成24年度の研究助成並びに事業助成の進捗報告
平成24年度6月度行事予定

第3回定時評議員会(平成25年3月12日)

- 第1号議案 「平成25年度事業計画
 - 第2号議案 「平成25年度収支予算書」
 - 第3号議案 諸規程の制定について
 - 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 報告事項:本年度の評議員会予定

(3)企画委員会

- 第1回 季刊誌「ふれあいの輪」秋号企画委員会(平成24年7月6日)
- 第2回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(平成24年10月4日)
- 第3回 季刊誌「ふれあいの輪」春号企画委員会(平成25年1月9日)
- 第4回 季刊誌「ふれあいの輪」平成25年度計画委員会(平成25年3月4日、15日)

(4) その他会議

(B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する研究班会議)

- 第1回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成24年8月31日)
- 第2回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成24年9月25日)
- 第3回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成24年10月30日)
- 第4回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成24年12月4日)
- 第5回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成25年1月7日)
- 第6回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成25年2月14日)
- 第7回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成25年3月15日)

(5) 東日本大震災支援活動に対する募金活動

平成23年度並びに平成24年度に実施しました、「東日本大震災」義援金募金活動について、募金額及び寄附先について報告いたします。

1. 「東日本大震災」義援金募金額

※(管理口座名義：公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団
東日本大震災義援金口座にて別会計口座の管理)

(単位：円)

イ. 全国で開催したケアマネ研修会 22 箇所での募金額	1,177,812
ロ. 秋季研修会での募金額	11,636
ハ. 一般(個人)からの募金(3名)	540,000
二. 東日本大震災義援金募金通帳預金利息	76
義援金募金総額	1,729,524

2. 「東日本大震災」義援金募金寄附先について

寄附先	活動概要	金額
公益財団法人日本訪問看護財団 理事長 清水 嘉与子	1)「保・助・看のためのレクレーション研究会」主催 代表者高木タカ子 『被災地の子どもと大自然の中で遊ぶ会』 2) 日本訪問看護財団の行う宮城県名取市仮説住宅 8 箇所の訪問活動 3) 一般社団法人 て・あーて、TE・ARTE 推進協会 代表理事 川嶋みどり 東松島矢本の「て・あーて東松島の家」開設準備資金に充当	1,000,000 円

<p>東日本大震災復興 支援連絡協議会 代表幹事 千葉 喜久也</p>	<p>1)「ダンスアーティストによる復興支援プロジェクト」～からだをほぐせればこころもほぐれる～ 2)岩手県陸前高田氏、釜石市、大船渡市、山田市、等の岩手三陸海岸の被災地で、仮設での生活を継続する中で高齢者の生活不活発病や認知症状が悪化している。 仮設に住む高齢者や家族を対象として認知症予防の生活講和や健康体操等の出前講座の継続をし、認知症予防や日常生活の活性化を図る。</p>	<p>700,000 円</p>
<p>寄附金総額</p>		<p>1,700,000 円</p>

以上